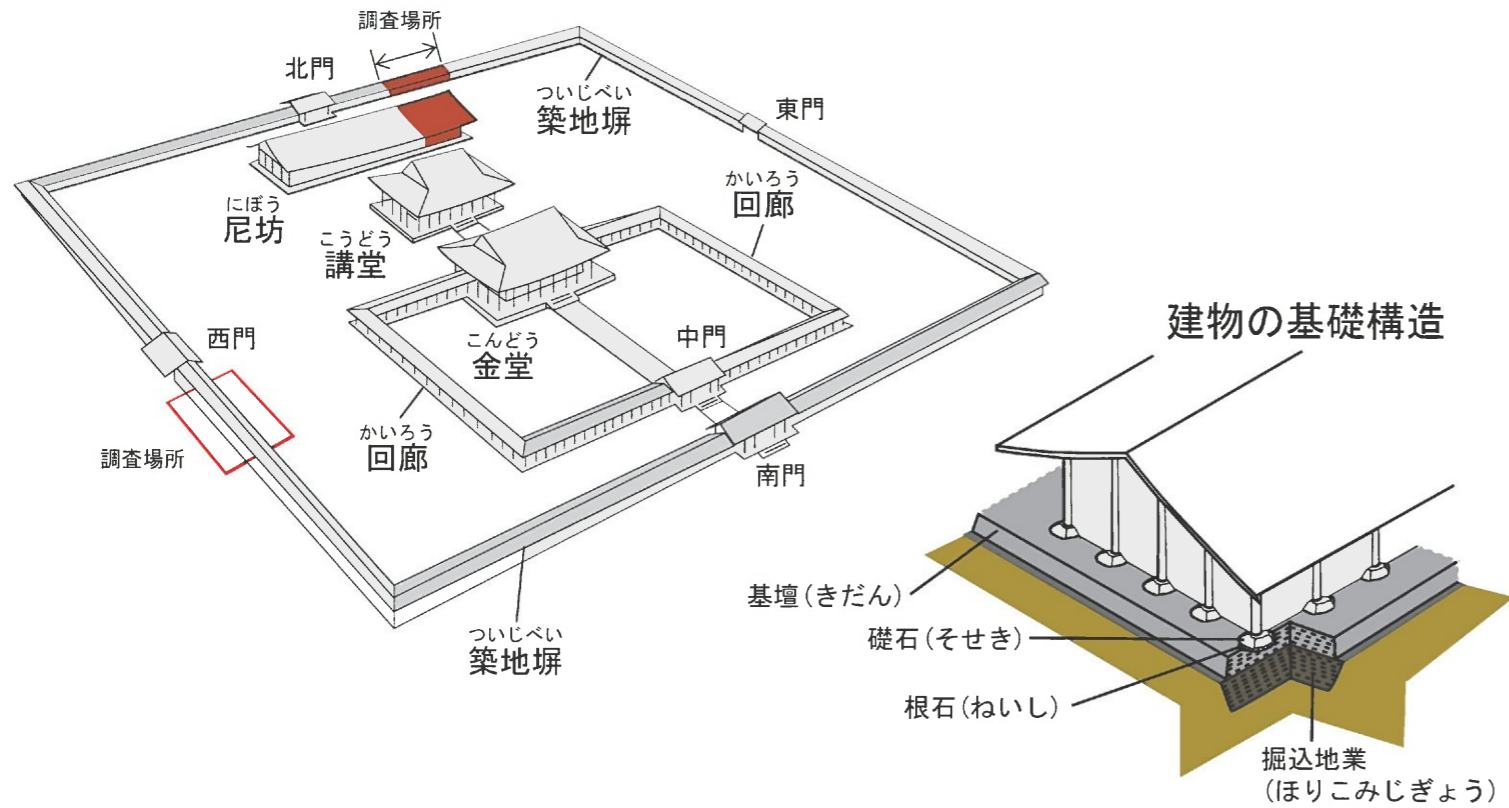


# 上野国分尼寺跡想像図



平成31年3月3日(日)  
高崎市教育委員会

平成30年度

# 上野国分尼寺跡確認調査 現地説明会

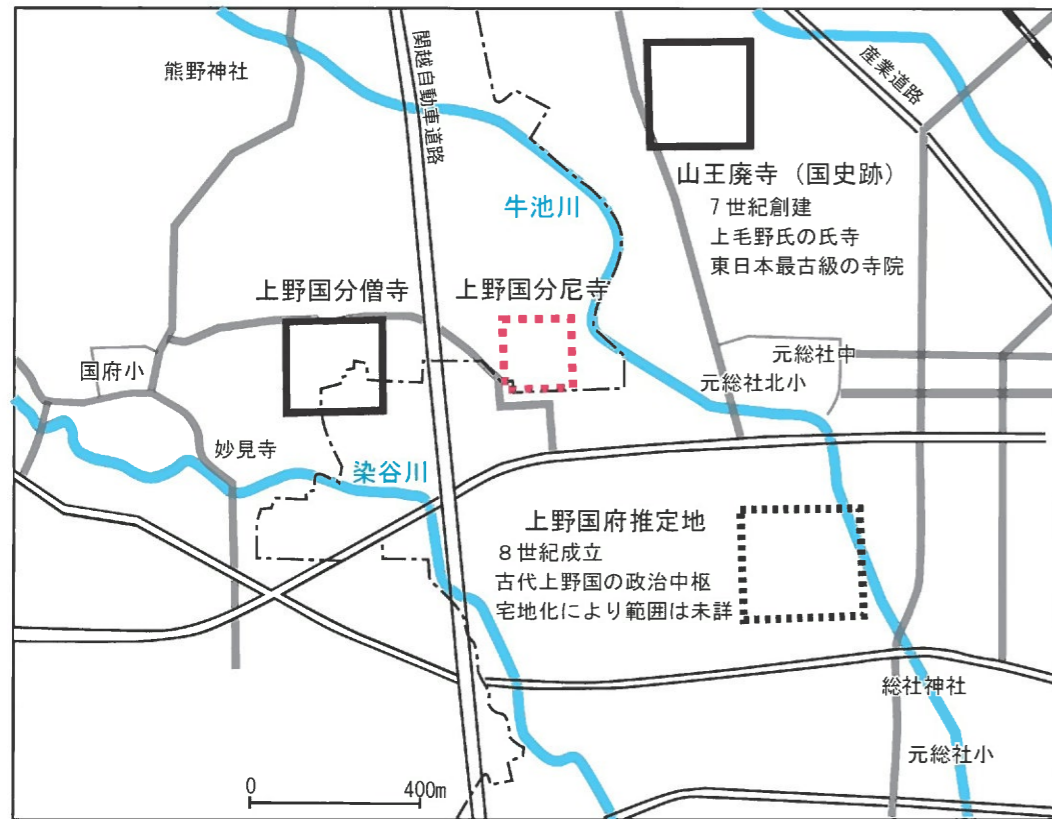
高崎市教育委員会では、平成28年度から上野国分尼寺跡の範囲や内容を明らかにするための確認調査に着手し、<sup>にぼう</sup>尼坊跡の発見など大きな成果をあげることができました。

今年度の調査は昨年10月に着手しました。調査の結果、尼坊跡の全体規模が明らかになり、全長45mの長大な建物であったことが判明しました。さらに、尼坊跡の南で大きな礎石を発見し、講堂跡の位置を探る大きな手がかりを得ることが出来ました。また、伽藍地北辺を区画する築地塀跡を確認し、昨年度調査及び前橋市教育委員会の調査とあわせ、伽藍地東辺と北辺及び南辺の範囲がほぼ確定しました。今後も、関係者の方々にご理解・ご協力をいただきながら、調査を継続していく予定です。

## 国分尼寺とは

奈良時代の天平13(741)年、聖武天皇の「国分寺建立の詔」により、国(現在の県に近い)ごとに僧20名をおく金光明四天王護国之寺(こんこうみょうしてんのうごこくのてら・国分僧寺)と尼10名をおく法華滅罪之寺(ほっけめつざいのてら・国分尼寺)が建てられた。上野国分尼寺跡は、史跡上野国分寺跡(上野国分僧寺)の東に存在した。

国分僧寺・尼寺では、国を護り繁栄させる教えを説いた経典を唱えたり、暦(こよみ)や薬の知識など最新の学問についての研究がされていた。



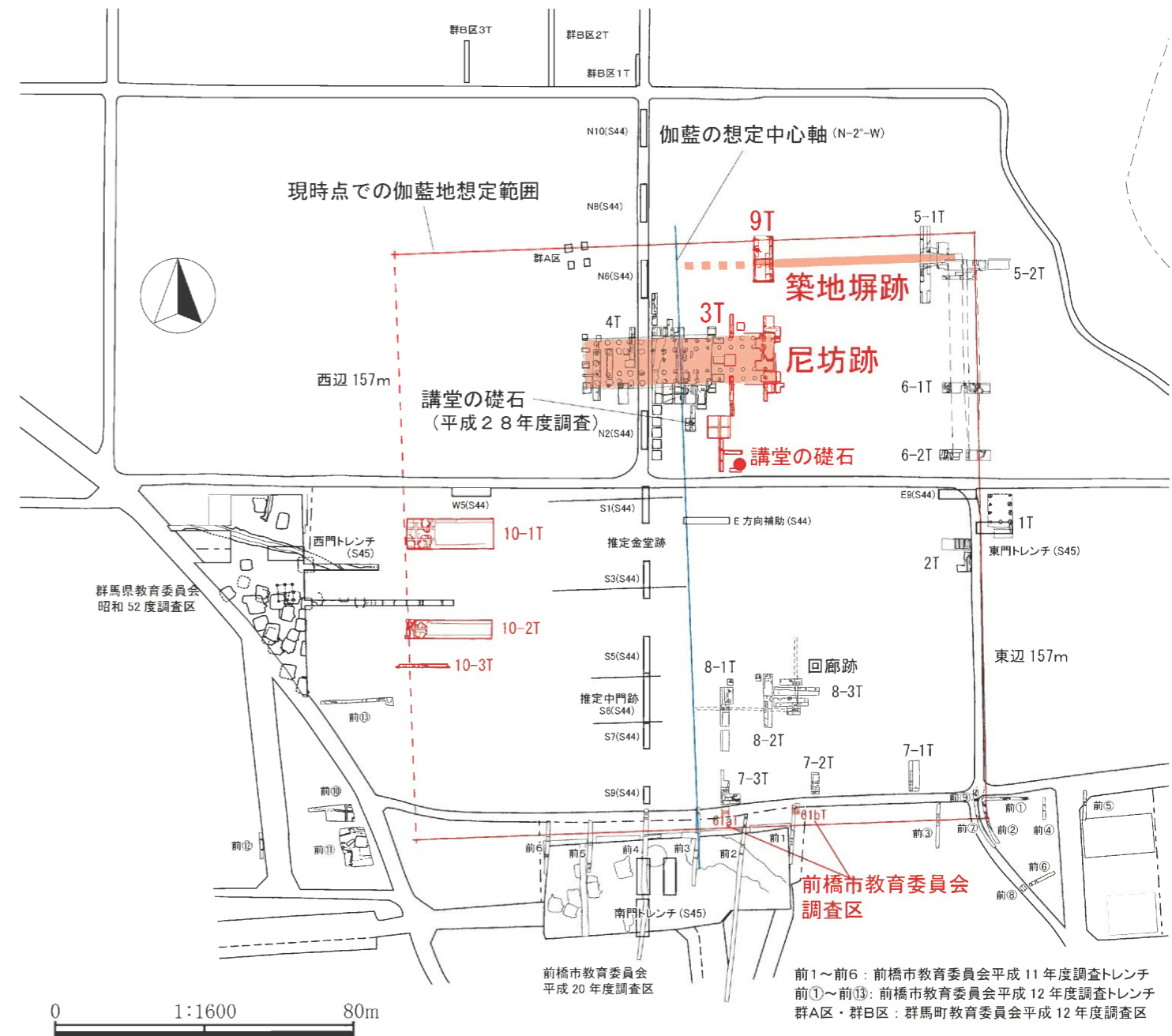
## 用語解説

**伽藍(がらん)**  
寺院の主要建物群

**金堂(こんどう)**  
本尊を安置する建物  
伽藍の中心的建物

**講堂(こうどう)**  
経典の講義や説教をする建物

**尼坊(にぼう)**  
尼が日常生活を送る宿舎  
僧寺では「僧坊」



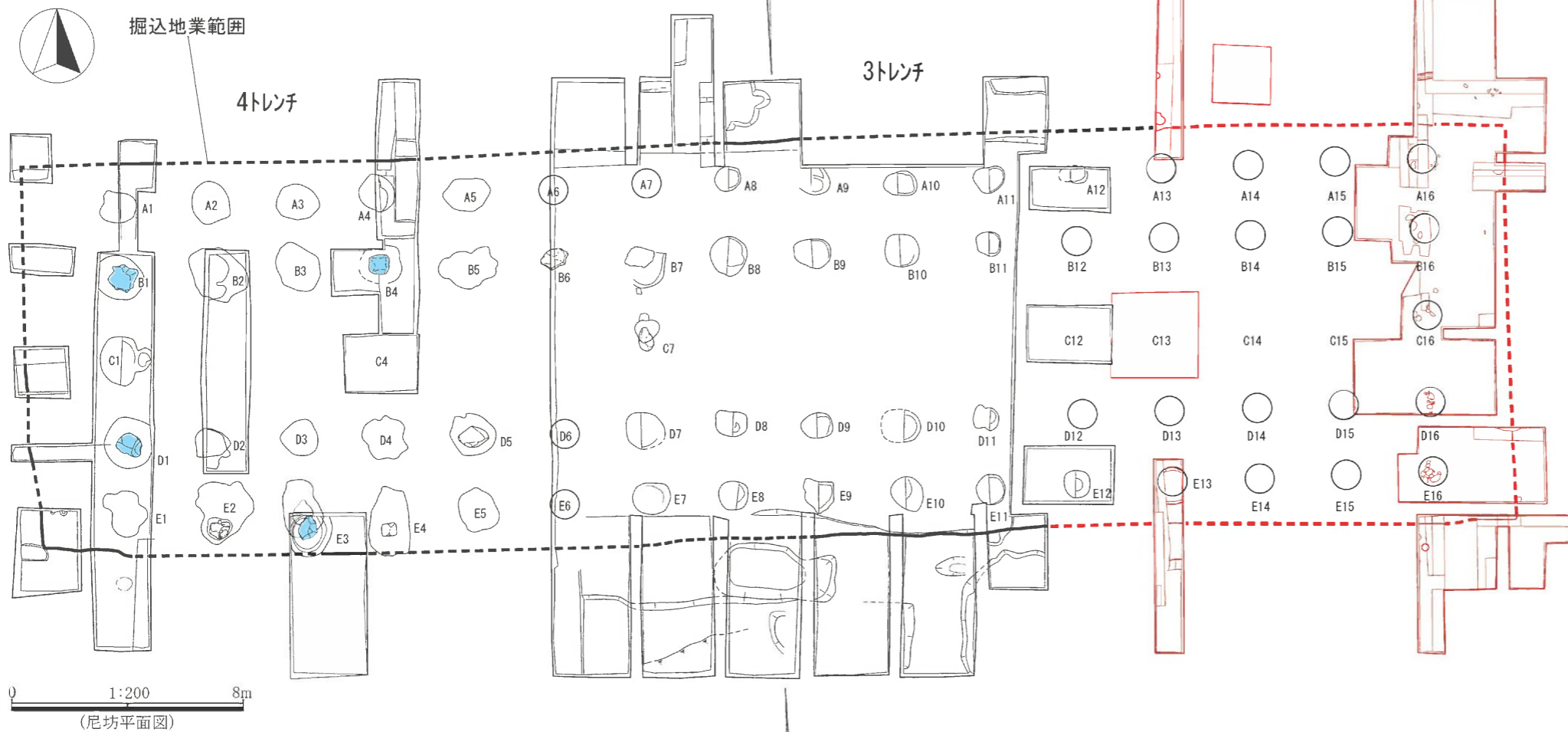
上野国分尼寺跡確認調査 現地説明会資料  
編集・発行 高崎市教育委員会文化財保護課  
住所 高崎市高松町35-1  
TEL 027-321-1292

前1~前6: 前橋市教育委員会平成11年度調査トレンチ  
前①~前⑬: 前橋市教育委員会平成12年度調査トレンチ  
群A区・群B区: 群馬町教育委員会平成12年度調査区

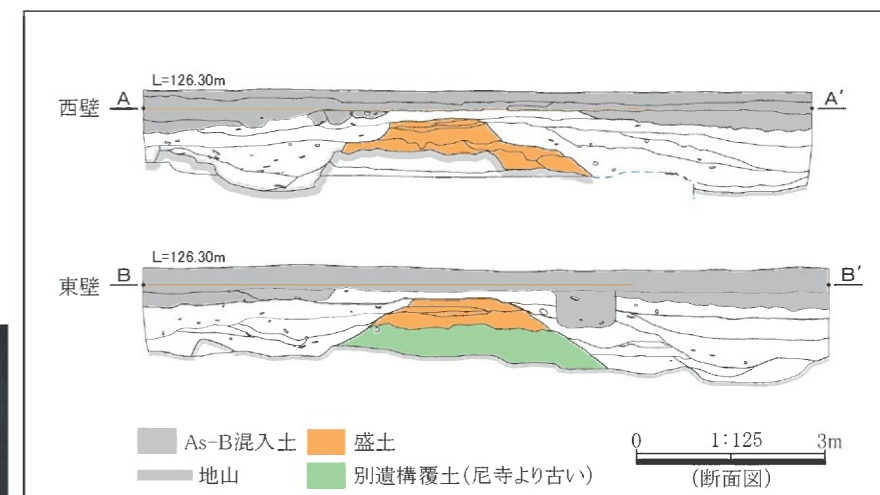
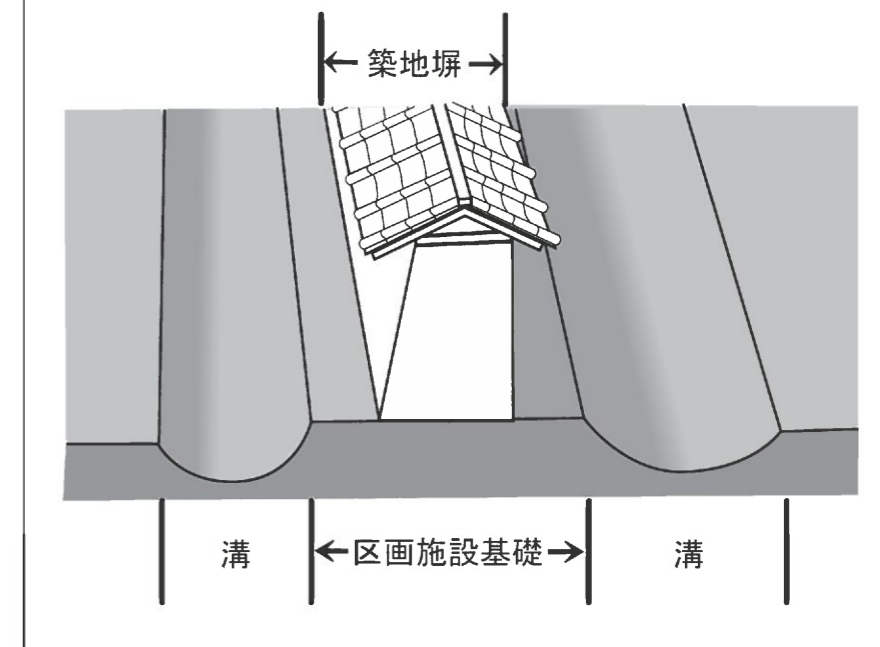


# 尼坊跡調査区

尼坊南北軸  
(N-2°-W)



## 築地塀の模式図

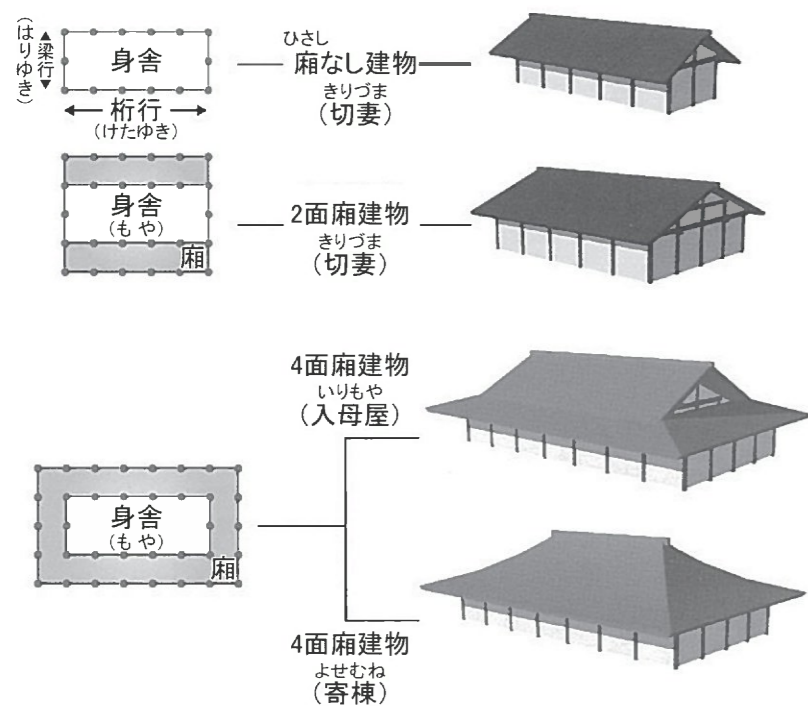


## 築地塀跡の断面



築地塀跡 (北東から撮影)

## 建物の上屋 (うわや) 構造



『武蔵国分寺のはなし』国分寺市教育委員会2014より



講堂の礎石 (平成28年度調査)



講堂の礎石



尼坊の柱跡 (E16)



瓦出土状況